

# 都政レポート

2017年第3号

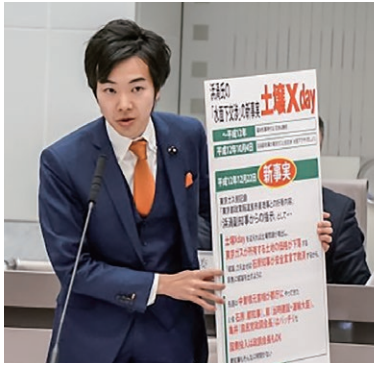
ホームページでも情報発信中! <http://otokitashun.com>



音喜多駿(おときたしゅん) / 1983年9月21日北区王子本町生まれ。  
いなり幼稚園、北区立王子第二小学校卒の生粋の北区民。海城中学・高校、  
早稲田大学政治経済学部政治学科を卒業後、外資系企業で7年間のビジネス経験を経て、  
現在、東京都議会議員一期目(無所属)。所属会派は都民ファーストの会東京都議団(幹事長)。

百条委員会  
報告号

## 豊洲市場移転問題を徹底究明! 百条委員会での攻防



2017年2月、不可解な点が残る豊洲市場移転の経緯を調査するために、法的な強制力を持つ「百条委員会」が都議会の全会一致で設置されました。そこでは**ダンボール 129 箱にもなる資料の調査と、23 時間に及ぶ証人尋問**を経て、多くの事実が明らかになりました。一部メディアで「新たな事実は見つからなかった」との報道もありましたが、まったくそのようなことはありません。

我々の調査によって明らかになったのは、当時交渉を主導していた浜渦副知事らが、「**土壌 Xday**」なる単語を使って豊洲の土地所有者である東京ガスに政治的圧力をかけると同時に、一部の関係者しか存在を知らない「**確認書**」によって密約を結び、都民益を損ねることにもなりかねない、強引な土地取得交渉を行っていた実態でした。

## 浜渦副知事らによる政治的圧力か? 「土壌 Xday」交渉とは

築地市場を豊洲に移転するにあたって、豊洲の土地を所有していた東京ガスは、当初その売却に極めて後ろ向きでした。そして平成 12 年 10 月に浜渦副知事に交渉役がバトンタッチし、「(交渉は)水面下でやりましょう」と宣言をした後は、交渉記録はほとんど残っていません。**この闇のペールに閉ざされた「水面下交渉」で急転直下、売買契約がまとまり、豊洲移転は急激に現実味を帯びてきます。**この「水面下交渉」で何が行われていたのかが、移転問題の最大の謎の一つでした。

### 浜渦氏の「水面下交渉」の新事実 **土壌 Xday**

～平成12年 権永副知事時代は交渉は難航  
平成12年10月4日 浜渦副知事が東京ガスと初交渉「水面下でやりましょう」

平成12年12月22日 **新事実**

東京ガス側記録  
「東京都政策報道室赤星理事との折衝内容」  
『浜渦副知事からの指示』として…

**土壌 Xday** を迎えば土壌問題が噴出し、  
**東京ガスが所有する土地の価格が下落** する  
「結論」さえ出せば **石原知事が安全宣言で救済** するから、  
早急に結論を出すように

先週は **中曽根元首相が都庁に** やって来た  
いま **石原(都知事)、舛(当時建設・運輸大臣)、  
亀井(自民党政調会長)はバッチリだ**  
**国費投入は政調会長もOK**  
都知事もそんなに時間がない

急転直下  
平成13年2月 東京ガスと東京都が覚書を締結

しかし、東京都の資料はほとんど残っていない中で、新たに東京ガスから提出された公式記録によって、新たな重要事実が2つ判明しました。その一つ目が、浜渦副知事らが政治的圧力をかけていたとも取られかねない、「**土壌 Xday**」交渉です。

東京ガス側の資料には、都側の交渉窓口であった赤星理事という人物が、浜渦副知事からの指示として、「土壌 Xday」という単語を用い、

**「この日(土壌 Xday)を迎えれば土壌問題が噴出し、  
東京ガスが所有する土地の価格が下落する」**

**「『結論』さえ出せば石原知事が安全宣言で救済するから、早急に結論を出すように」**

などの内容を伝えている様子が記録されています。そのほかにもこの資料には、複数の有力国会議員の名前を出しながら交渉妥結を迫る様子の記載もありました。そして、この東京ガス側の記録の作成者は末尾に、

**「脅かしてきた」「これ以上議論をしても無駄」**

など、激しい憤りを節々ににじませつつ、終盤には「以下の約束をした」として、今後は「土壌 Xday」までには方向を出すべく双方努力することなどが取り決められています。

これによって東京ガスがこれまでの態度を一変させたとしたら、これは驚くべきことであり、**国政にまで言及した明白な政治的圧力**と言えます。以上が、記録によって明らかにされた「事実」の一端です。

# 圧力の影では、大幅に譲歩も…。誰も知らなかった『確認書』

このような政治的圧力をかける一方で、浜渦副知事は、東京ガス側に大幅な譲歩をしていました。それは**豊洲の土地の土壌汚染対策を、非常に緩い基準での対策で留めることを良いとしたもの**です。

東京ガスが豊洲の土地売却を渋っていた最大の要因の一つは、土壌汚染対策です。ガス工場の創業由来の物質で汚染された土地を完璧に浄化しようと思えば、途方もない手間とコストが発生します。しかしながら、その多くを東京都が負担するというのであれば、話はまったく別です。

今回、百条委員会の強制力をもった調査によって初めて、**平成 13 年 7 月に担当部長の私印（署名）によって締結された確認書が存在することが明らかになりました**。そこには土壌汚染対策について、汚染土壌が残置された状態で可とする旨が明確に記載されていたのです。そしてこの大幅な「譲歩」をした結果が、**豊洲の土地に大規模な汚染が発覚した後、都側がその大半の処理費用を負担することにつながっていきます**。

数百億円以上もの都民負担を引き起こした可能性のあるこの「確認書」の存在は、これまでかたく隠蔽され続け、証人として出頭した浜渦副知事も「そんなものは知らない」という不可解な主張を繰り返しました。

しかしながら膨大な資料と証言により、浜渦副知事らがこの百条委員会を通じて、虚偽の主張をしていたことは明らかです。こうしたことから、**浜渦副知事ら 2 名の証人に対しては、偽証の認定が可決される見込み**となっています。

交渉のキーマン

## 浜渦証言の「真実」



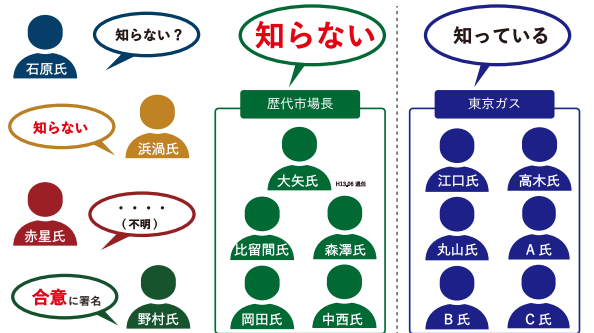
## 「水面下」ゆえの混乱

© おときた駿事務所

# 都庁の意思決定ガバナンスの崩壊、石原元知事の任命責任は重大

以上のような政治的圧力をかけた交渉や、また大幅な譲歩をした確認書の締結は、**後の責任者を含めて都庁内の誰にも共有されていなかった**ことが、また百条委員会の調査を通じて明らかになりました。一方で東京ガス側は、少なくとも確認書の存在については認識しています。

## 確認書 (H13.07.18 二者間合意) の存在について



このようなずさんな情報ガバナンス体制の下で、後に数百億円もの追加土壌汚染対策費用を負担することになる豊洲の土地の売買が行われていたのですから、いかに「知らない」と主張しても、**石原都知事はその任命責任（政治的・道義的責任）から免れることはできません**。

土地取得の過程で不適切な部分があったからといって、現在完成している豊洲新市場が使えない・移転ができないというわけでは決してありません。しかしながら、このような強引かつ不適切な意思決定プロセスの中で、**結果として都民が不利益を被った可能性が大きいという事実はしっかりと受け止め、今後の改善・改革に活かしていかなければならない**でしょう。

6月上旬に予定されている百条委員会の最終報告の取りまとめに向けて、調査は最終段階に入っています。この紙面に書ききれないご報告は、私の HP でもさせていただきますので、ぜひそちらもご確認をいただければ幸いです。

## 都議選の日程が決定!!

# 6月23日(金) 告示、7月2日(日) 投開票

皆さまの一票で、東京の未来が決まります!

投票日に都合が悪い方は、期日前投票所をご利用ください。

- Twitter <http://twitter.com/otokita/>
- facebook <https://www.facebook.com/otokitashun>
- LINE [http://line.me/ti/p/@otokita\\_togi](http://line.me/ti/p/@otokita_togi)
- ブログ <http://otokitashun.com/blog/>

都政のこと、北区のこと… どんな小さなことでもかまいません。皆さまの声をお寄せください!

お問い合わせは… [mail@otokitashun.com](mailto:mail@otokitashun.com)

各種ご連絡先

おときた駿事務所  
〒114-0034 東京都北区上十条 2-25-14  
Tel/Fax 03-3908-3121

公式QRコードへ!

